

## ＜ 完成報告書検討結果（関東学院大学人間環境学部） ＞

### [1] 概評

2006（平成18）年度の本協会による相互評価に際し、貴大学人間環境学部は、評価資料を提出する4月段階において申請資格充足年度（標準修業年限+1年）を経ておらず、教育・研究活動に関する評価を十全には行えなかった。よって当該学部の完成時の状況を、完成報告書として取りまとめることを求めた。

今回提出された完成報告書からは、キリスト教に基づく人格の陶冶という建学の理念を基礎に、生活、社会、文化といった人間をとりまく環境に着目し、現代コミュニケーション、人間環境デザイン、健康栄養および人間発達の4学科で構成した学部として、教育目標の達成にむけた努力がなされていることが確認できた。

教育課程については、性格の異なる4学科を学部の理念で統括するための「学部基幹科目」とともに、学科別の基幹科目群も置かれており、教養教育への配慮も適切に行われている。また、導入教育としては「教養ゼミナール」が必修とされ、建学の精神を学ぶ「キリスト教分野」が置かれている。組織的な履修指導、1年間に履修登録できる単位数の上限設定、シラバスの整備、ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動なども適切になされている。

また、学生の受け入れや教員組織にも大きな問題は見られない。

### [2] 今後の改善経過について報告を求める事項

なし

以 上